前払金のご担当者様へ

令和9年
5月6日
開始予定

「前払金の払出手続一部変更」により

「総合振込」による払出手続がより便利になります!!

動画でも
確認できます

～「総合振込」による払出手続の流れ（概要）～

「総合振込」は、「前払金専用口座」から「支払口座」へ振り替えた後、協力会社等へ振り込む方法です。



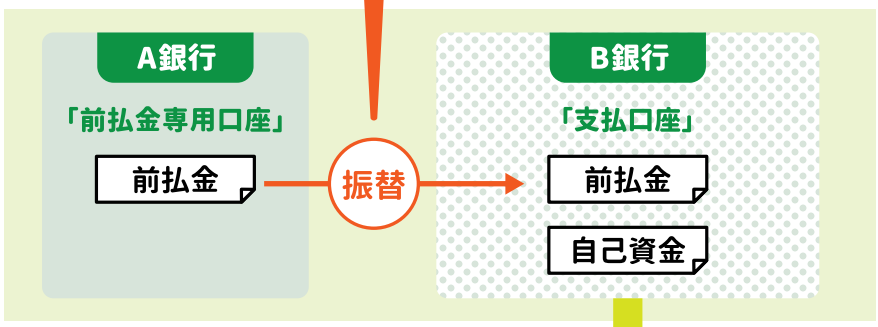
変更
ポイント1

同一金融機関の他店舗や他行にある支払口座への振替が可能に！

前払金の「支払口座」への振替

金融機関店舗窓口での手続







協力会社等の口座

◆◆「総合振込」以外の払出方法との比較◆◆

「振込」の場合

前払金専用口座から、協力会社等の口座へ直接振り込む方法

「前払金専用口座」
前払金
↓
協力会社等の口座

公共工事と民間工事で
別々に振り込む
手間がかかる・・・

「現金」の場合

現金で払い出す、または、自社口座へ振り替える方法

「前払金専用口座」
前払金
↓
自社口座 等

「請求書」と「領収書」を
提出するのが大変…

立替資金の準備が必要となり、
資金繰りの負担が増加

西日本建設業保証株式会社

「総合振込」の場合の払出手続の流れ

具体例



お客様

例 協力会社であるA建設から、5月末締めの請求書が届いた

請求書

A建設株式会社

¥4,000,000-

（内訳）公共工事	300万円
（内訳）民間工事	100万円

6月30日に、A建設へ400万円を振込予定

公共工事の代金300万円は前払金を使用し、
民間工事の代金100万円は自己資金で支払いたい

6月5日

6月20日 ステップ①

インターネットバンキング等で振込予約をする

※振込予約データ
- 振込先　A建設
- 振込金額　400万円
- 振込日　6月30日

6月22日 ステップ②

e-Net保証で前払金払出依頼書(兼 使途内訳明細書)を作成し当社に提出する

※前払金の払出金額 300万円

3~5営業日前までに提出

当社

提出書類を確認

e-Net保証より確認済の連絡

6月28日 ステップ③

金融機関店舗窓口に**当社確認済**の前払金払出依頼書(兼使途内訳明細書)を提出し、前払金を振り替える

※前払金の払出金額 300万円

前日~10営業日

金融機関

前払金を**支払口座**へ振替

ステップ①の振込予約を元にA建設への振込が**完了!!**

6月30日 ステップ④

A建設への振込手続

・振込金額 400万円

☑ お客様用チェックシート

【当社へ提出する書類】

☐ ① 前払金払出依頼書（兼 使途内訳明細書）

☐ ② 施工体系図等 + インターネットバンキング等の振込予約明細（振込予約した場合）

☐ ③ 請求書　変更ポイント2　請求書のご提出が可能になりました！

※ ②または③のいずれか一方を社内の経理フロー等に応じてご提出ください。

【金融機関へ提出する書類】

☐ ① 当社確認済の前払金払出依頼書（兼 使途内訳明細書）

☐ ② 金融機関所定の払戻請求書
（前払金専用口座から支払口座へ振り替える書類）

☐ ③ 前払金専用口座の通帳と印鑑

※ステップ①振込予約ができない場合は、ステップ②で「請求書」を提出し、ステップ③と④を同日に処理することも可能です。

前払金払出依頼書（兼使途内訳明細書）の記載例

変更ポイント3

前払金使途内訳明細書と前払金払出依頼書の様式を統合しました！

前払金払出依頼書（兼　使途内訳明細書）　1枚目／1枚中

（預託金融機関）

金融機関名	店舗名
大阪銀行	立売堀支店

払出日　令和　9　年　6　月　28　日以降

※前払金専用口座から預託金を払い出す日をご記入ください。
なお、払出日より前に払い出すことはできませんのでご注意ください。

保証契約者（預託者）

西日本建設㈱

保証契約番号	207600****	前払保証	払出回数	1 回目	照合番号	

前払金額	20,000,000 円	払出前預託金残高	20,000,000 円	払出合計金額	7,000,000 円	払出後預託金残高	13,000,000 円
				うち、自社口座へ振替または振込の合計金額（払出方法が1および3の合計金額）	7,000,000 円		

支払先名称	払出金額	払出方法 1.総合振込（自社口座へ振替または振込後、支払先の口座へ振込）	払出方法 2.振込（支払先の口座へ直接振込）	払出方法 3.現金（自社口座へ振替または振込（現金払出含む））	前払金を使用する項目
A建設（株）	3,000,000 円	○			外注代金
B建設（株）	2,000,000 円	○			材料費
C建設（株）	1,000,000 円	○			その他（重機リース代）
自社	1,000,000 円			○	直用労務費
	（小計）	6,000,000 円	円	1,000,000 円	

工事名

○○○○○○○○工事

西日本建設業保証株式会社(インターネット申込専用様式)

よくあるご質問



Q1　「総合振込」による前払金の払出手続のメリットは何ですか。

- 同じ支払先に対して、前払金専用口座と支払口座の両方から振り込む必要が無く、1つの支払口座から振込ができます。
- 払出方法「振込」と比べて、支払口座のインターネットバンキングを利用することで、振込手数料を抑えることができます。
- 支払日（振込指定日）より前に前払金を支払口座に振り替えることができるので、預託金融機関の混雑日を避けることができます。

Q2　協力会社等への支払日（振込指定日）の何日前に前払金を支払口座に振り替えればいいですか。

支払日（振込指定日）の前日～10営業日前を目途に、預託金融機関の窓口で振り替えてください。

よくあるご質問（続き）



Q3 請求書を利用して総合振込による前払金の払出を行う場合の必要書類を教えてください。

当社へ「前払金払出依頼書（兼 使途内訳明細書）」と「請求書」をご提出ください。
請求書は、従来当社にご提出いただいていた施工体系図等および金融機関にご提出いただいていた振込予約明細の写し等に代わる書類として取り扱います。

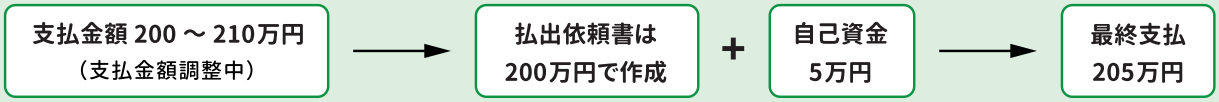
Q4 材料費と外注代金の支払日が異なる場合、その都度、預託金融機関窓口で振替手続が必要でしょうか。

- その必要はありません。例えば、材料費の支払日が25日、外注代金の支払日が30日の場合、25日以前に両方の必要代金を前払金専用口座から支払口座に振り替えてください。



Q5 支払金額の確定に時間がかかり、保証会社への前払金払出依頼書の提出ができません。どのように対応すればよいでしょうか。

- 払出方法「総合振込」の場合は最低限、確実に発生する支払金額で前払金払出依頼書（兼 使途内訳明細書）の作成を行ってください。
- 例えば、200～210万円で支払金額を調整中の場合、前払金払出依頼書（兼 使途内訳明細書）には200万円と記載し、請求書とともに提出してください。最終的な支払金額が205万円となった場合は、差額の5万円は自己資金でお支払いいただくことで、最終的な支払金額の確定を待たずにスムーズにお手続いただくことが可能です。



Q6 金融機関と総合振込に関する契約をしていない場合や、インターネットバンキングを利用していない場合でも、「総合振込」による前払金の払出手続は利用できますか。

ご利用いただけます。具体的なお手続については、当社の最寄り支店へお問い合わせください。

ご案内動画も
ぜひご覧ください
https://wjcs.net/information/haraidashi.php

不明点など、お気軽に
お問い合わせください

西日本建設業保証株式会社